

# TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する

## 自転車を利用している小学生はヘルメットを着用しているか？

### DATA 基礎情報

自転車に乗る子どもにヘルメットを着用させることは保護者の義務

ヘルメット非着用の自転車乗用中交通事故死者数の人身損傷主部位別比較(2020年・警察庁)をみると、頭部損傷が約6割を占めている。自転車乗用中に事故に遭った際、被害を軽減するためにはヘル

メットを着用し、頭部を守ることが重要だ。2008年に施行された改正道路交通法で、子ども(13歳未満)を自転車に乗せる時はヘルメットを着用させることが保護者の努力義務となった。それから14年が経過し、自転車に乗る子どものヘルメット着用は定着しているのだろうか。今回は東京都内の2カ所で小学生の自転車利用者のヘルメット着用状況を観察した。

### WATCHING 観察

学齢が上がるにつれてヘルメットを着用しなくなる

観察場所Aは、東武伊勢崎線「竹ノ塚駅」から徒歩5分ほどのところにある商店街周辺。観察場所Bは、JR「武蔵境駅」の前にある大型商業施設周辺である。どちらも、観察時間の夕方は親との買い物や、塾や習い事に向かうため、自転車に乗って移動する小学生が見られた。観察場所A、Bはそれぞれ2009年と2012年に同様の観察を行っている。

観察場所Aにおける小学生の自転車利用



同乗する子どもだけでなく、自転車を運転する子どもにもヘルメットを着用させている保護者(観察場所B)

者のヘルメット着用率は6.9%(102人中7人)。2009年に観察した時の着用率は2.6%(116人中3人)だった。一方、観察場所Bでのヘルメット着用率は51.0%(51人中26人)。2012年に観察した時の着用率は19.8%(116人中23人)だった。ヘルメットをしていた全員があごひもを締めていたが、緩んでいたり、サイズが合っていないケースも散見された。

ヘルメットを着用している小学生を低学年(1~2年生)、中学年(3~4年生)、高学年(5~6年生)で分けると、2カ所とも低学年の着用率が高く、学齢が上がるにつれて着用しない傾向が見られた。

### ADVICE アドバイス

正しい着用の重要性についても保護者が伝えてほしい

観察場所A、Bともに以前の観察に比べ、着用率は上昇した。しかし、観察場所Aでは着用率が1割にも満たない結果となった。東京都内でも地域によって着用率に大きな差があることから、全国的にも子どもの自転車用ヘルメットの普及にはバラツキがあると思われる。

ヘルメットを着用は子ども本人ではなく、保護者の義務である。万が一、事故に遭った時に頭部への被害を軽減するためにも、自転車に乗る子どもにはヘルメットを着用させてほしい。また、ただ着用させるだけでなく、あごひもが緩むことなどが

ないように正しい着用方法(P7参照)を保護者が伝えなければならない。子どもが成長してヘルメットのサイズが合わなくなったら、適正なサイズのものに買い替える必要もある。

今回、自転車に同乗している幼児のヘルメット着用状況についても観察したところ、着用率は観察場所Aが27.3%(44人中12人)、観察場所Bが73.3%(45人中33人)だった。ヘルメットを着用することの重要性を保護者が理解し、幼児の段階から自転車に乗る時はヘルメットをかぶるのが当たり前だという子どもへの意識づけが大切である。それがヘルメット着用の習慣化を促し、小学生になって一人で乗る時に継続して着用することにつながっていくのではないだろうか。

### 観察結果

#### 観察場所A

東京都足立区 東武伊勢崎線「竹ノ塚駅」付近  
観察日/5月10日(火)  
観察時間/16:00~18:00  
天候/晴れ



小学生の多くがヘルメットを着用せずに自転車に乗っていた

#### ●小学生の自転車用ヘルメット着用状況(人)

		着用		非着用	合計
		適正	不適正		
小学生	低学年	4	0	18	22
	中学年	2	1	56	59
	高学年	0	0	21	21
合計		6	1	95	102
		7 6.9%		95 93.1%	

\*低学年(1~2年生)、中学年(3~4年生)、高学年(5~6年生)の判断は観察者の見解による。不適正は、あごひもが緩い、サイズが合っていないなど。



ヘルメットを着用していた小学生はわずかだった



同乗する子どもにヘルメットを着用させていない保護者

#### 観察場所B

東京都武蔵野市 JR「武蔵境駅」付近  
観察日/5月11日(水)  
観察時間/16:00~18:00  
天候/晴れ



小学生のヘルメットの着用率は観察場所Aに比べ高かった

#### ●小学生の自転車用ヘルメット着用状況(人)

		着用		非着用	合計
		適正	不適正		
小学生	低学年	7	1	4	12
	中学年	8	4	10	22
	高学年	5	1	11	17
合計		20	6	25	51
		26 51.0%		25 49.0%	



高学年になるにつれてヘルメットを着用しない傾向が見られた



歩行者がいたため、自転車を降車して横断歩道を渡る小学生